

NAKANANO-ZERONOH

逃げる、足疾鬼。追う、韋駄天。

蠟燭能

舍利

仕舞 「玉之段」 遠藤六郎
 仕舞 「熊坂」 観世喜正
 狂言 「棒縛」 野村萬斎
 蠟燭能 「舍利」 小島英明

NOH "SYARI" IDATEN VS SOKUSHIKKI

2011年3月5日 [土] 午後2時開演 《午後1時30分開場》 なかのZERO大ホール

【入場料】《全席指定》S席 5,000円 / A席 4,000円 / B席 3,000円 ※ホールメイト会員は各1割引・小中学生は各1,000円引※枚数制限なし

【チケット取扱い】なかのZEROチケットセンター 03-3382-9990 / なかのZEROオンラインチケット <http://nicesacademia.jp/>
 チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 408-708) / ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード 33958)/e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

【前売り開始】一般発売日 11月29日(月) 10時～ / ホールメイト会員優先日 11月28日(日) 10時～ / 中野区民優先日 11月28日(日) 13時～
 ※優先日のご予約はいずれも「なかのZEROチケットセンター」にて電話予約、「なかのZEROオンラインチケット」での予約受付のみ。※ご予約・ご購入後の変更及びキャンセルはお受けできません。※未就学児はご入場できません。



遠藤六郎 ROKURO ENDOU

観世流シテ方。1927年生。中野区在住。10歳より先々代・観世喜之の内弟子に入り、先代観世喜之・観世寿夫・先代観世鏡之丞、各師に師事。現在も現役最長老として舞台上に立ち、芸歴は70年を超える。著書に『縁の梯子(えにしのはしご)』(げんごろう出版)がある。国学院大学卒業。(社)観世九卓会理事。(社)能楽協会会員。重要無形文化財総合指定保持者。(社)日本能楽会会員。



観世喜正 YOSHIMASA KANZE

観世流シテ方。1970年生。観世喜之の長男。父に師事。父とともに矢来能楽堂を中心に活動。国内や海外での演能にも多く携わる。平成9年に同世代の若手能楽師5名で「神遊(かみあそび)」を結成。能楽協会の教育特別委員として能楽体験学習など、若い世代への能の普及を積極的に推進。NHK教育テレビ・大河ドラマの能楽監修。慶応大学法学部卒業。(社)観世九卓会理事。(社)能楽協会会員。



小島英明 HIDEAKI KOJIMA

観世流シテ方。1970年生。中野区在住。観世喜之に師事。祖父は先々代喜之、伯父は先代喜之に師事した能楽師で、幼少より能に親しむ。9歳の時に仕舞『合浦』で初舞台。平成12年独立。平成19年、観世九卓会別会(国立能楽堂)にて「道成寺」を披露。国内外の公演以外にも能楽普及のための講座を自ら多数企画・実施。学習院大学法学部卒業。卓風会主宰。(社)観世九卓会所属。(社)能楽協会会員。



野村萬齋 MANSAI NOMURA

和泉流狂言方。1966年生。父、野村万作(人間国宝)に師事し、幼少より数多くの舞台に立つ。その活動は狂言の舞台以外にも及び、映画、舞台、TV等幅広いメディアで活躍中。中でも日本の伝統芸能と現代劇の融合を目指した『藪の中』や、『RASHOMON』、『敦-山月記-名人伝』等を演出し多大な評価を得る。東京藝術大学音楽部邦楽科卒業。ござる乃座主宰。(社)能楽協会会員。

NAKANO-ZERO NOH SYARI ROUSOKU-NOH STYLE 蠟燭能 舍利

■みどころ解説 小島 英明

■仕舞 玉之段 TAMANODAN 遠藤 六郎
熊坂 KUMASAKA 観世 喜正
地謡 中森 貫太
遠藤 和久
佐久間二郎
坂 真太郎

■狂言 棒 縛 BOUSHIBARI
シテ・太郎冠者 野村 萬齋
アド・主 野村 遼太
小アド・次郎冠者 高野 和憲
後見 中村 修一

《休憩15分》

■蠟燭能 舍利 SYARI
シテ・里人/足疾鬼 小島 英明
ツレ・韋駄天 鈴木 啓吾
ワキ・旅僧 森 常好
アイ・能力 竹山 悠樹

笛 松田 弘之
小鼓 鶴澤洋太郎
大鼓 原岡 一之
太鼓 桜井 均

地謡 観世 喜正
中森 貫太
遠藤 和久
奥川 恒治
古川 充
佐久間二郎
坂 真太郎
桑田 貴志

後見 遠藤 六郎
遠藤 喜久

※終演予定 午後4時40分頃



狂言「棒 縛」

主人(アド)は用事で外出するため、太郎冠者(シテ)・次郎冠者(アド)のふたりに留守をいづける。しかし、このふたり、主人の留守にいつも酒を盗み飲みする悪い癖がある。主人は一計を案じて太郎冠者は棒に両手を縛りつけ、次郎冠者は後ろ手に縛りつけることに成功。酒を飲むなと言いつつ出かけるが…。

能「舍利」

出雲の国(島根県)美保の関の僧(ワキ)が、都見物のため京に上り、唐から渡った十六羅漢像や仏舎利を拝もうと東山泉涌寺(せんじゆうじ)にやってくる。寺男(アイ)の案内で、名高い仏舎利を拝み感激していると、寺の近くに住むという里人(前シテ)がやってきて、仏舎利の有難いお話を語り、共に拝する。すると、にわかにかき曇り稲光がひらめくと、里人の顔は鬼に変わり、我こそこの舎利を狙っていた足疾鬼であるという、仏舎利を奪い、舎利殿の天井を蹴破り虚空に飛び去る。＜中入＞僧は、物音に気がついて駆けつけた寺男から、かつて釈迦の入滅の時、足疾鬼(そくしつき)という鬼が牙舎利(げしゃり・釈迦の歯)を奪って逃げたが、足の速い仏・韋駄天(いだてん)が取り返したという話を聞く。二人が韋駄天に祈ると、やがて韋駄天(ツレ)が現れ、逃げる足疾鬼(後シテ)を天上界から下界まで追いつめて仏舎利を取り返し、足疾鬼は力も尽き果て逃げ去るのであった。



2011年3月5日 [土] 午後2時開演 《開場 午後1時30分》
なかのZERO大ホール

◇JR・東京メトロ中野駅南口より徒歩7分(東京都中野区中野2-9-7)
◇駐車場がございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。

入場料: 《全席指定》 S 5,000円 / A 4,000円 / B 3,000円 ※ホールメイト会員は1割引・小中学生は各1,000円引。※枚数制限なし

- なかのZEROチケットセンター 03-3382-9990
- なかのZEROオンラインチケット <http://nicesacademia.jp/>
- チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 408-708)
- ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード 33958)
- e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

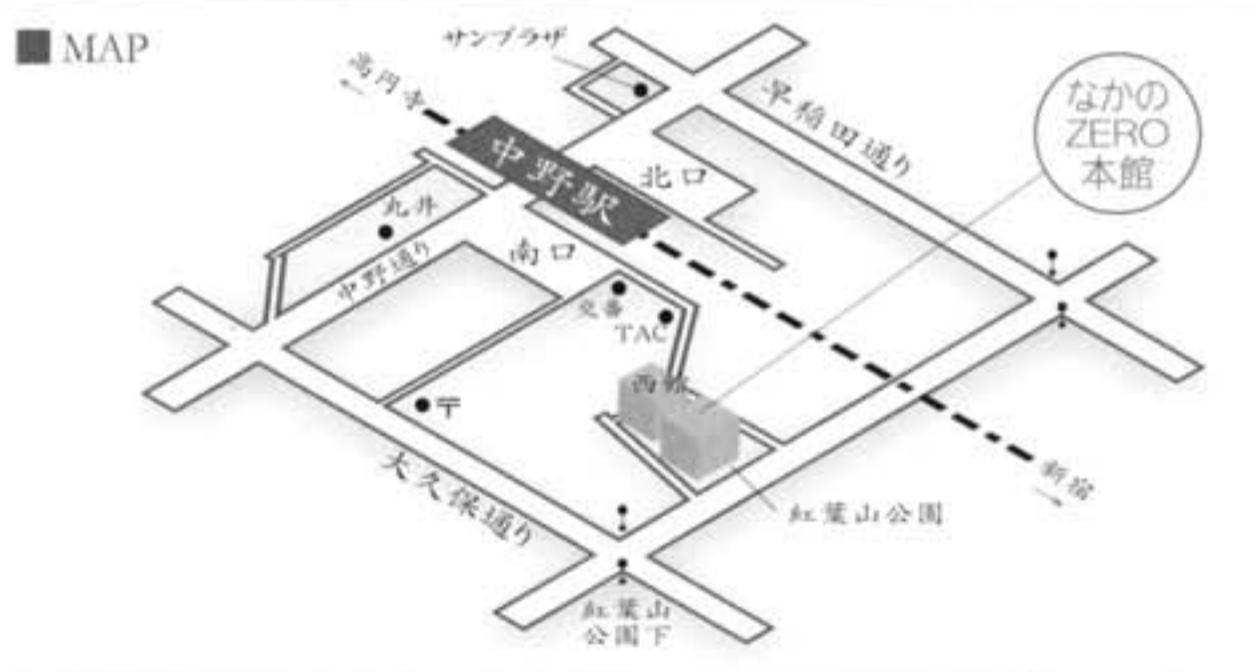
事前講座「能のてほどき」の御案内
~今回は daytimeも楽しんで頂きます。ほっとする和みの時間をお楽しみ下さい。~

■2011年2月20日(日)
《第1回》午後12時より / 《第2回》午後3時より
※ティータム30分・講座90分予定

■なかのZERO本館2階 もみじ茶屋(大ホール隣)
■講師 観世流能楽師 小島英明

2001年、ユネスコより世界無形遺産第1号に認定された「能楽」の魅力に迫ります。「謡(うたい)」の体験もあり!映像・能面・能装束をご覧頂きながら、演者自ら「舍利」の見どころを徹底解剖!!

【受講料】2,000円(飲食代含む) ※公演チケットをお求めの方には特典あり!
【申込み】往復はがきに①希望時間②氏名・フリガナ③郵便番号・住所④性別・年齢⑤電話・FAX番号、返信用はがきにも住所氏名を記入し「なかのZERO事業課「能のてほどき」係(〒164-0001 中野区中野2-9-7)までお申込み下さい。《定員》各回80名。※応募多数時は抽選となります。《応募締切》2011年1月31日(月)消印有効。



【主催】なかのZERO指定管理者 <http://nicesacademia.jp/>
【協力】(社)観世九卓会 / 卓風会 / 秋葉総本殿可睡斎「草駟尊天園」
【問合せ】なかのZERO事業課 TEL 03-5340-5043
SYARI HIDEAKI KOJIMA / photo HIROYUKI SHIBATA

NOH KYOGEN NAKANO-ZERO TOKYO JAPAN 2011